

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	保育実践演習				
担当者氏名	坂口 静子、岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・秋期

《授業の概要》

教材づくりを通して、子どもたちは何を楽しみ、何を学び、何を身につけているのかを理解し、学生自らも表現する楽しさを味わってもらいたい。さらに教材の発表や相互評価をすることによって、保育者としての表現力やコミュニケーション力を身につけることを目指す。  
さらに、出前保育を通して人とかかわる体験をすることを旨とする。

《授業の到達目標》

- 保育実践演習（春期）の発展的課題として、保育教材の理解を深める。
- 保育者間の連携と協同意識の必要性を涵養し、教材作りの完成を目指す。
- 完成した教材を身近な保育現場に活かせることを目指す。
- 子育て支援施設（常磐会学園こどもセンター）の機能や役割を知る。

《成績評価の方法》

定期試験は実施しない。  
授業における貢献度、作品によって評価する。  
平常点（受講態度等）20% 遊具制作・発表等80%

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。  
適宜資料を配布する。  
注意事項：はさみ、のり、サインペン等を持って来るよう指示することがある。  
造形材料の収集・購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

作品作成は授業外で完成させることもある。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	「保育所の日...人とのかかわりが苦にならない資質を持つために」DVD視聴 人とかかわる体験(出前保育)の意義
2	教材作り	紙芝居作りの計画とグループ制作 2~3人
3	教材作り	紙芝居 グループ制作
4	教材作り	紙芝居 グループ制作
5	教材の発表と相互評価	紙芝居 グループ発表
6	教材作り	ペープサート グループ制作 5~6人
7	教材の発表と相互評価	ペープサート グループ発表
8	子育て支援の意義と目的	常磐会学園こどもセンターの意義と目的
9	教材作り	エプロンシアター、またはパネルシアターの計画とグループ制作 2~3人
10	教材作り	エプロンシアター、またはパネルシアター グループ制作
11	教材作り	エプロンシアター、またはパネルシアター グループ制作
12	教材の発表と相互評価	エプロンシアター、またはパネルシアター グループ発表
13	ふれあい幼児体操作り	ふれあい幼児体操の計画と創作 7~8人
14	幼児体操の発表と相互評価	ふれあい幼児体操 グループ発表
15	まとめと今後の課題	演習とまとめ「遊びはコミュニケーションのツール」 保育実践演習 に繋げて